

掲載しきれないイベントの写真などは糸満市の「フェイスブック」や「Instagram」,「ラインアット」に掲載しています。



グ
イ
ラ
ム
ス
タ



ブ
ッ
ク
ス



ラ
イ
ン

大 糸満市少年少女駅伝大会 里、5年ぶり王座奪還

「第36回糸満市少年少女駅伝大会」が12月8日、西崎陸上競技場で行われ、各自治会から20チームが出場しました。同大会は児童生徒が駅伝に親しみ、仲間との絆を大切にすることで、心身ともに健全で心豊かな子どもを育成することを目的に行われています。大会は、小学4年生から中学生までの12区間で競い合い、大里Aが5年ぶりに王座を奪還しました。大里Aのアンカーを走った島袋来基さんは「5年ぶりに優勝できたのでとてもうれしいです。みんなの応援が力になりました」と話しました。
結果▶1位 大里A 2位 真栄里チャレンジ会A 3位 米須あすなろ会A 飛躍賞 与座子ども会
※個人結果は22ページに掲載しています。



赤 令和元年度秋季善行表彰 十字奉仕団「善行賞表彰」受賞

日本善行会から「秋季善行表彰」を受けた糸満市赤十字奉仕団が12月9日、喜びを報告するため市役所を訪れました。同表彰は、明るく住みよい社会づくりのために長い間活動し、多大な貢献をしている個人、団体に贈られるもので、沖縄県からは同赤十字奉仕団が選ばれ、表彰されました。知名清子委員長は「先輩たちが積み重ねてきた活動が評価され、会員一同喜んでます」と話しました。



川 スポーツ分野で表彰 満さんとソフトテニスが表彰

スポーツ推進委員功労者表彰を受賞した川満則明さんと、生涯スポーツ優良団体表彰を受賞した糸満市ソフトテニス連盟の役員らが11月26日、喜びを報告するため市役所を訪れました。川満さんは29年間にわたり市民の健康・体力作りに尽力したことが認められ、ソフトテニス連盟はジュニア期の育成強化や健全育成に尽力したほか、地域に根差した活動でスポーツの普及振興に貢献したことが認められ受賞に至りました。

旬の話題をお届け! とれたて いとれば



全 ラウンドアバウトサミット 国から310人が参加

ラウンドアバウト(環状交差点)の普及促進を図る「ラウンドアバウトサミット in いとまん」が11月21日、22日の両日、糸満市とうるま市で開催され、県内外から約310人が参加しました。信号機がないラウンドアバウトは2014年9月の改正道路交通法施行を機に全国で導入が進み、交通の円滑化や事故の減少、環境・防災面などで効果があるとされています。初日はサザンビーチホテル&リゾート沖縄で関係者の講演や自治体の取り組みが発表された後、交流会が開かれ、関係者は情報交換を行いながら親睦を深めました。2日目は糸満ロータリーラウンドアバウトと、うるま市ラウンドアバウトを訪れ、工事の進捗や交通状況などを視察しました。

慶 更生保護制度施行70周年記念 留間さん「法務大臣表彰」受賞

犯罪や非行からの立ち直りを支援する更生保護制度の施行70周年を記念した全国大会が10月7日、天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、東京国際フォーラムで開かれ、慶留間清榮さんが法務大臣表彰を受賞しました。慶留間さんは15年間にわたり保護司として従事し、南部保護区保護司会の副会長を務めながら、成人3人、子どもたち11人を更生させ、保護司の活動に対して積極的に取り組んできました。



照 令和元年度健やか親子21全国大会 屋さん「母子保健会長表彰」受賞

母子保健推進員の照屋良子さんが、11月7日に行われた令和元年度健やか親子21全国大会で「公益社団法人母子保健推進会議会長表彰」を受賞しました。照屋さんは25年にわたり母子保健推進委員として活動。地域の母子保健の推進・向上に貢献した活動が評価され、今回の受賞に至りました。照屋さんは「地域の人の支えや職員さんの指導があって長年活動が続けることができました。感謝の気持ちでいっぱいです」と話しました。